

第8回マスフェスタ＜全国数学生徒研究発表大会＞参加報告

- 主催 大阪府立大手前高等学校
日時 平成28年8月26日（金）～27日（土）
場所 京都大学百周年時計台記念館 大ホール・国際交流ホール
参加 本校生徒3名 引率1名
目的 数学に関する高校生の取り組み等（課題研究、部活動等）の研究発表をはじめ、大学研究者の発表、講演を実施し、小中高校生の数学に対しての興味・関心を高め、初等・中東・高等教育の接続を行う、全国の数学教育活動の充実・発展に資する。
- 内容
- ・生徒による数学研究ポスターセッション、口頭発表
 - ・大学研究者、大学院生による研究紹介
 - ・数学者による講演

日程

8月26日（金）

17:00～19:00 発表準備と京都大学大学院生と高校生との交流会

大手前高校卒業生の3人の大学院生の研究生活を聞いた

8月27日（土）

9:30～開会式

10:00～11:30 ポスター発表①とアピールタイム①

本校生徒3人のポスターセッションとアピールタイム

12:20～13:40 講演会

「素因数分解と不定方程式」

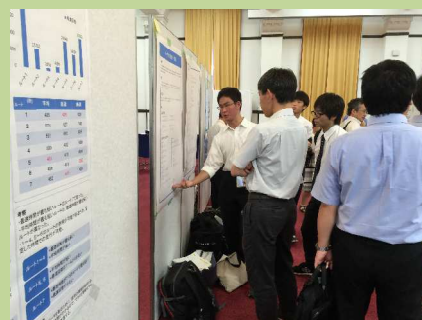
京都大学大学院理学研究科 雪江明彦 先生

14:00～15:30 ポスター発表②とアピールタイム②

他校の発表と討論

15:45～16:00 閉会式

講評と閉会の挨拶



生徒感想

- ・学校では体験できない、教授や高校生とのディスカッションが楽しめて、高校生では貴重な体験ができた。参加して良かったと思った。
- ・数学はマイナーな学問で、発表する機会も少ないが、今回は数学の研究だけが集まる学校での発表とは違う独特の雰囲気があった。聞いていた人も、興味深く議論を恐れず聞いてくれた。発表の場とし説明しているときも、今までの発表とは違い楽しめた。
- ・中学生や、高1、高2がレベルの高い発表を行い、刺激になった。
- ・数学の発表は難しく複雑と思っていたが、中には身近な話題に取り組み、数学的に解析していた班も多く、数学だけとはいえ、多様な発表の場であった。